

平成24年度 第1回 高等学校入学者選抜審議会

日時 平成24年7月19日(木) 15:00～

場所 県庁4階 特別会議室

次 第

1 開 会

2 報 告

(1) 平成24年度宮城県公立高等学校入学者選抜結果について

(2) 平成25年度宮城県公立高等学校入学者選抜について

(3) 全県一学区化に伴う状況について

(県立高等学校将来構想審議会における検証報告から)

3 諮 問

4 審 議

5 その他

6 閉 会

【 資 料 】・・・・・・・・・・・・・・・・・・(総ページ数)

○ 会議関係資料・・・・・・・・・・・・・・・・(4)

○ 報告関係資料・・・・・・・・・・・・・・・・(15)

○ 諮問関係資料・・・・・・・・・・・・・・・・(7)

○ 別冊子

・ 新入試広報用リーフレット

・ 平成25年度宮城県公立高等学校入学者選抜一覧

・ 高校教育改革の成果等に関する検証 「全県一学区化」に関する検証の概要

・ 平成24年度公立高等学校入学者選抜学力検査の分析結果

1 高等学校入学者選抜審議会条例

(昭和28年3月28日条例第40号)

最終改正 昭和47年10月条例第27号

第1条 教育委員会の諮問に応じ、高等学校の通学区域の検討、入学者の選抜の方法及びその実施並びに学力検査問題の作成について調査審議するため、高等学校入学者選抜審議会（以下「審議会」という。）を置く。

第2条 審議会は、30人以内の委員で組織する。

2 審議会に、専門の事項を調査研究させるため、専門委員を置く。

第3条 委員及び専門委員は、学校の教職員、教育研修所の職員、教育庁の職員及び学識経験者のうちから教育委員会が任命又は委嘱する。

第4条 委員の任期は二年とする。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 教育委員会が必要と認めたときは、前項の規定にかかわらず、任期中においても当該委員を解職することができる。

3 専門委員は、当該専門の事項に関する調査研究が終了したときは、退任するものとする。

第5条 審議会に、委員長及び副委員長各一人を置き、委員の互選によって定める。

2 委員長は、会務を掌理する。

3 副委員長は、委員長に事故あるとき、その職務を代行する。

第6条 審議会の会議は、必要に応じて委員長が招集する。

第7条 この条例に定めるものを除く外、審議会の議事の手続その他審議会の運営に関し必要な事項は、委員長が会議にはかつて定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和47年10月11日条例第27号抄）

（施行期日）

1 この条例は、公布の日から施行する。

平成24年度 第1回高等学校入学者選抜審議会 名簿

(審議会委員)

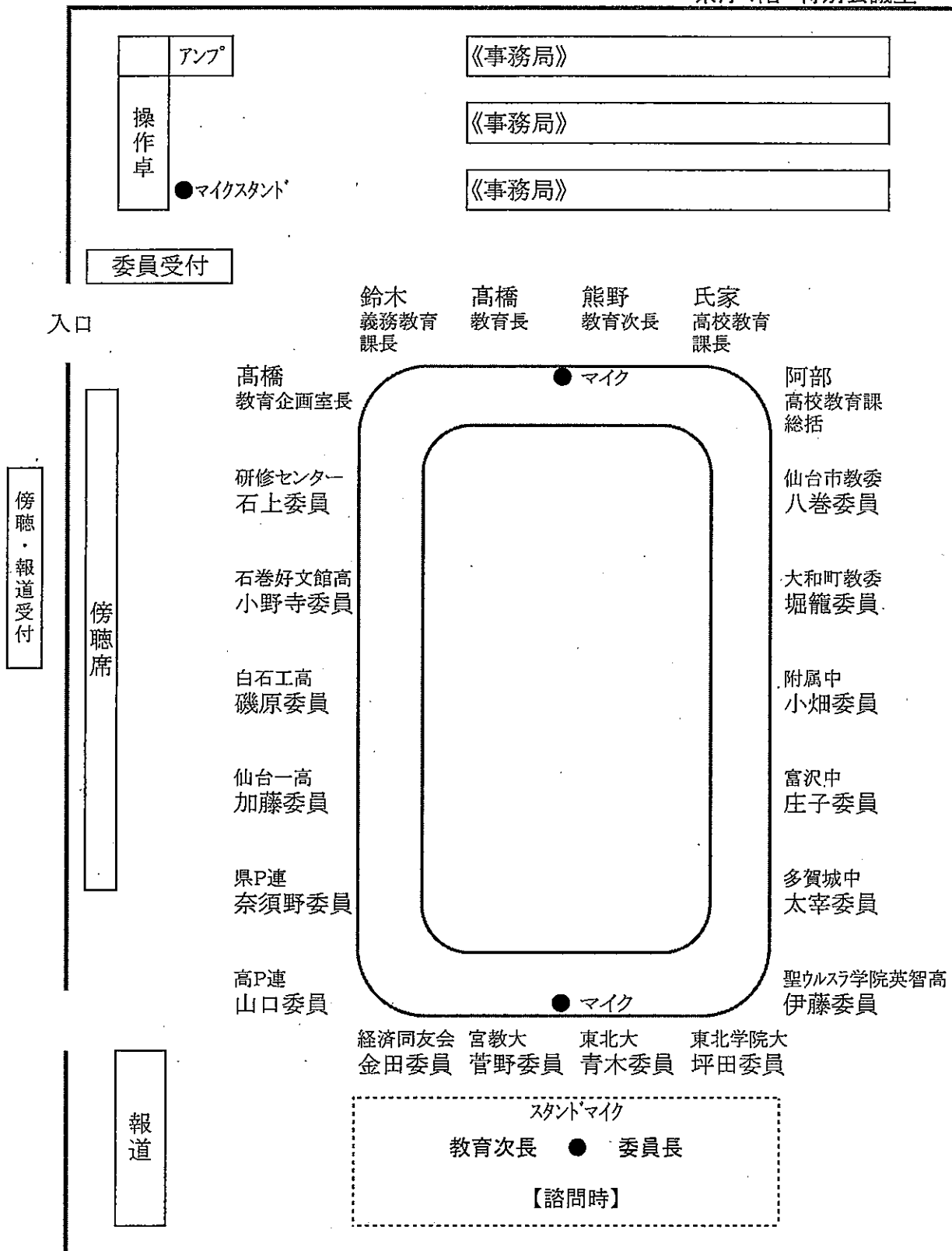
	氏名	現職	備考
1	菅野 仁	宮城教育大学教育学部教授	
2	青木 栄一	東北大学大学院教育学研究科准教授	
3	坪田 益美	東北学院大学教養学部講師	
4	金田 隆	仙台経済同友会事務局長	
5	山口 一美	宮城県仙台西高等学校PTA会長	
6	奈須野 毅	宮城県PTA連合会会長	
7	伊藤 宣子	聖ウルスラ学院英智高等学校長	
8	太宰 明	多賀城市立多賀城中学校長	
9	庄子 修	仙台市立富沢中学校長	
10	小畑 研二	宮城教育大学附属中学校副校長	
11	堀籠 美子	大和町教育委員会教育長	
12	八巻 賢一	仙台市教育局学校教育部教育指導課長	
13	加藤 順一	宮城県仙台第一高等学校長	
14	磯原 眞行	宮城県白石工業高等学校長	
15	小野寺千穂子	宮城県石巻好文館高等学校長	
16	石上 正敏	宮城県教育研修センター所長	

(教育庁)

教育委員会	教育次長	熊野 充利
教育企画室	室長	高橋 剛彦
	教育改革班室長補佐兼企画員	佐藤 芳明
教職員課	県立学校人事班課長補佐	久保 義洋
義務教育課	課長	鈴木 洋
	指導班副参事	宮下 文憲
高校教育課	参事兼課長	氏家 仁
	副参事兼課長補佐	阿部 正直
	教育指導班課長補佐	松本 文弘
	教育指導班主幹	佐々木克敬
	” 主幹	後藤 和也
	” 主幹	菊田 英孝
	” 主任主査	小金 聡
	” 主任主査	三宅 裕之

3 平成24年度 第1回高等学校入学者選抜審議会 座席図

県庁4階 特別会議室



報 告 関 係 資 料

報告 (1)

平成24年度宮城県公立高等学校入学者選抜結果について

- 1 総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(1)
- 2 学科別出願者数・合格者数等・・・・・・・・(2)
- 3 地区別出願者数・合格者数等・・・・・・・・(2)
- 4 学力検査の結果・・・・・・・・・・・・・・・・(3)
- 5 学校選択問題の選択状況・・・・・・・・(3)
- 6 東日本大震災に係る対応・・・・・・・・(3)

報告 (2)

平成25年度宮城県公立高等学校入学者選抜について

- 1 新入試制度導入までの経過・・・・・・・・(7)
- 2 平成25年度公立高等学校入学者選抜について・・・・・・・・(8)
- 3 新入試広報用リーフレット・・・・・・・・(別冊子)
- 4 平成25年度宮城県公立高等学校入学者選抜一覧・・・・・・・・(別冊子)
- 5 補助資料・・・・・・・・・・・・・・・・(9)

報告 (3)

全県一学区化に伴う状況について

- 1 出願状況からみた全県一学区化に伴う地区外出願希望状況について
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(15)
- 2 高校教育改革の成果等に関する検証
「全県一学区化」に関する検証の概要・・・・・・・・(別冊子)

報告 (1)

平成24年度宮城県公立高等学校入学者選抜

1 総括

平成24年4月18日

	全日制課程		定時制課程	
	平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度
中学校卒業予定者数(平成23年5月1日現在)	21,999	22,006	—	—
募集定員 (a)	15,160	15,460	1,040	1,040

	全日制課程	
	平成24年度	平成23年度
併設型中学校から併設型高等学校への入学 (b)	75	71

		全日制課程		定時制課程	
		平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度
推薦入試	推薦枠	5,066	5,164	295	295
	出願者数	5,302	5,361	25	22
	合格者数 (c)	4,131	4,192	24 (1)	22 (3)

(注) ()内数字は、社会人推薦合格者数で内数

		全日制課程	
		平成24年度	平成23年度
連携型入試	募集人数	142	142
	出願者数	113	127
	合格者数 (d)	108	124

			全日制課程		定時制課程	
			平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度
一般入試	出願当日	募集人数	10,846	11,073	1,016	1,018
		出願者数	13,320	13,455	494	601
		出願倍率	1.23	1.22	0.49	0.59
	特例措置出願		2	0	0	1
	学力検査当日	欠席者数	208	199	9	18
		受験者数	13,114	13,256	485	584
		受験倍率	1.21	1.20	0.48	0.57
		合格者数 (e)	10,199	10,397	417	508

(注) 出願倍率=出願者数/募集人数

(注) 受験倍率=受験者数/募集人数

		全日制課程		定時制課程	
		平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度
第二次募集	募集人数	659	696	599	510
	出願者数	157	227	130	156
	受験者数	154	225	130	155
	合格者数 (f)	141	190	91	113

		全日制課程		定時制課程	
		平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度
全合格者数 (b+c+d+e+f)		14,654	14,974	532	643
充足率 (%) ((b+c+d+e+f)/a*100)		96.7	96.9	51.2	61.8

2 学科別出願者数・合格者数等

(1) 全日制課程

	学 科	募集定員	推薦入試			一般入試			中高一貫教育 進学者数	第二次募集 合格者数	全合格者 数	充足率 (%)
			出願者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率				
1	普通	9,800	3,550	2,612	73.6	8,752	6,694	76.5	162	64	9,532	97.3
2	農業	760	136	135	99.3	587	518	88.2	—	22	675	88.8
3	工業	1,640	583	511	87.7	1,343	1,045	77.8	—	9	1,565	95.4
4	商業	1,200	448	366	81.7	1,033	757	73.3	21	19	1,163	96.9
5	水産	200	41	40	97.6	154	137	89.0	—	10	187	93.5
6	体育	120	102	72	70.6	74	48	64.9	—	0	120	100.0
7	英語	80	35	31	88.6	59	39	66.1	—	3	73	91.3
8	家庭	120	44	34	77.3	91	84	92.3	—	0	118	98.3
9	看護	40	29	16	55.2	36	24	66.7	—	0	40	100.0
10	理数	200	80	70	87.5	147	124	84.4	—	6	194	97.0
11	美術	40	23	23	100.0	17	17	100.0	—	0	40	100.0
12	総合	960	231	221	95.7	821	712	86.7	—	8	941	98.0
	計	15,160	5,302	4,131	77.9	13,114	10,199	77.8	183	141	14,648	96.6

※ 中高一貫教育進学者数は、連携型入試合格者数と併設型中学校から併設型高校への進学者数を含めたもの

(2) 定時制課程

※ 合格率=合格者数/出願者数(または受験者数)×100

	学 科	募集定員	推薦入試			一般入試			第二次募集 合格者数	全合格者 数	充足率 (%)
			出願者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率			
1	普通	800	20	19	95.0	429	383	89.3	69	471	58.9
2	工業	240	5	5	100.0	56	34	60.7	22	61	25.4
	計	1,040	25	24	96.0	485	417	86.0	91	532	51.2

3 地区別出願者数・合格者数等(全日制課程)

	地 区	募集定員	推薦入試			一般入試			中高一貫教育 進学者数	第二次募集		
			出願者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率		出願者数	受験者数	合格者数
1	刈田・柴田	1,320	350	321	91.7	984	899	91.4	—	33	32	32
2	伊 具	320	57	57	100.0	218	215	98.6	—	18	18	17
	南部地区	1,640	407	378	92.9	1,202	1,114	92.7	—	51	50	49
3	亘理・名取	1,000	298	267	89.6	900	703	78.1	—	9	8	7
4	仙台南	2,400	1,175	748	63.7	2,510	1,643	65.5	—	4	4	3
	中部南地区	3,400	1,473	1,015	68.9	3,410	2,346	68.8	—	13	12	10
5	仙台北	2,920	1,289	869	67.4	3,139	2,046	65.2	—	6	6	6
6	塩 釜	1,160	478	380	79.5	1,032	781	75.7	—	0	0	0
7	黒 川	520	190	174	91.6	439	333	75.9	—	5	4	4
	中部北地区	4,600	1,957	1,423	72.7	4,610	3,160	68.5	—	11	10	10
8	大 崎	1,280	353	307	87.0	921	813	88.3	75	15	15	15
9	遠 田	440	137	129	94.2	314	282	89.8	—	14	14	13
10	登 米	680	160	140	87.5	484	462	95.5	—	9	9	6
11	栗 原	640	107	104	97.2	480	461	96.0	—	6	6	5
	北部地区	3,040	757	680	89.8	2,199	2,018	91.8	75	44	44	39
12	石 巻	1,680	574	501	87.3	1,173	1,069	91.1	—	33	33	28
13	本 吉	800	134	134	100.0	520	492	94.6	108	5	5	5
	東部地区	2,480	708	635	89.7	1,693	1,561	92.2	108	38	38	33
	総 計	15,160	5,302	4,131	77.9	13,114	10,199	77.8	183	157	154	141
	前 年 度	15,460	5,361	4,192	78.2	13,256	10,397	78.4	195	227	225	190

4 学力検査の結果(5教科受験者について)

教科別得点・総点の平均及び最高等

満点は各教科とも100点

(参考)

	項目/教科等	国語	社会	数学A	数学B	理科	英語A	英語B	総点
全 日 制	平均	61.0	58.4	41.8	58.0	49.1	40.8	57.7	(264.9)
	最高	95	100	95	95	97	94	96	454
	最低	0	0	0	4	0	0	4	24
	前年度平均	53.3	59.1	39.4	56.9	48.0	45.6	58.4	(257.5)
定 時 制	平均	38.1	25.1	16.5		22.7	25.2		(127.7)
	最高	80	73	80		66	76		301
	最低	2	0	0		2	2		27
	前年度平均	33.6	28.6	15.3		23.5	28.4		(129.5)

5 学校選択問題の選択状況

教科		選択学校数			選択学科数		
		全日制	定時制	計	全日制	定時制	計
数 学	A	52	13	65	106	21	127
	B	22	0	22	32	0	32
英 語	A	50	13	63	103	21	124
	B	24	0	24	35	0	35
学校数・学科数計		74	13	87	138	21	159

6 東日本大震災に係る対応

	推薦入試・ 連携型入試	一般入試	第二次募集	合計
入学者選抜手数料の 免除申請者数 (下段は割合)	1,156 (21.3%)	2,697 (19.5%)	56 (19.5%)	3,909 (20.0%)
臨時的措置による 出願者数	8	23	0	31

学校選択問題選択一覧 (学科ごと)

(1) 全日制課程 ※印は市立高校を示す。

学校名	学科・コース	募集 定員	選択類型			
			数英 AA	数英 AB	数英 BA	数英 BB
1 白石	普通科	240				○
	看護科	40				○
2 蔵王	普通科	120	○			
3 白石工	機械科	80	○			
	電気科	40	○			
	工業化学科	40	○			
	建築科	40	○			
	設備工業科	40	○			
4 村田	総合学科	120	○			
5 柴田農林 川崎	食農科学科・動物科学科	80	○			
	森林環境科・園芸工学科	80	○			
	普通科	40	○			
6 大河原商	流通マネジメント科	80	○			
	OA会計科	40	○			
	情報システム科	80	○			
7 柴田	普通科	120	○			
	体育科	40	○			
8 角田	普通科	200	○			
9 伊具	総合学科	120	○			
10 名取	普通科	240	○			
	家政科	40	○			
11 名取北	普通科	280	○			
	普通科・普通コース	40	○			
12 亘理	普通科・園芸コース	40	○			
	食品化学科	40	○			
	商業科	40	○			
	家政科	40	○			
	農業科・園芸科	120	○			
13 宮城農	農業機械科	40	○			
	食品化学科	40	○			
	生活科	40	○			
14 仙合一	普通科	320				○
15 仙台二華	普通科	240				○
16 仙台三桜	普通科	280				○
17 仙台向山	普通科	160				○
	理数科	40				○
18 仙台南	普通科	280		○		
19 仙台西	普通科	280	○			
20 仙台東	普通科	240		○		
	英語科	40		○		
21 宮城工	機械科	80	○			
	電子機械科	40	○			
	電気科	80	○			
	情報技術科	40	○			
	化学工業科	40	○			
	インテリア科	40	○			
22 仙台工※	建築科・土木科	60	○			
	機械科・電気科	140	○			
23 仙台二	普通科	320				○
24 仙台三	普通科	240				○
	理数科	80				○
25 宮城一	普通科	200				○
	理数科	80				○
26 宮城広瀬	普通科	280	○			
27 泉	普通科	240				○
	英語科	40				○
28 泉松陵	普通科	280	○			
29 泉館山	普通科	280				○
30 宮城野	普通科	160				○
	美術科	40				○
	総合学科	80				○
31 仙台※	普通科	280				○
32 仙台商※	商業科	320	○			

(1) 全日制課程 ※印は市立高校を示す。

学校名	学科・コース	募集 定員	選択類型			
			数英 AA	数英 AB	数英 BA	数英 BB
33 塩 釜	普通科	320	○			
	ビジネス科	80	○			
34 多賀城	普通科	280				○
35 松 島	普通科	200	○			
36 利 府	普通科	200	○			
	スポーツ科学科	80	○			
37 黒 川	普通科	80	○			
	機械科	80	○			
	電子工学科	40	○			
	環境技術科	40	○			
38 富 谷	普通科・人文コース	120				○
	普通科・国際コース	80				○
	普通科・理数コース	80				○
39 古 川	普通科	240				○
40 古川黎明	普通科	240				○
41 岩 出 山	普通科	120	○			
42 中 新 田	普通科・7か7ミックスコース	80	○			
	普通科・ビジネスコース	40	○			
43 松 山	普通科	40	○			
	家政科	40	○			
44 加 美 農	農業科	40	○			
	農業機械科	40	○			
	生活技術科	40	○			
45 古 川 工	機械科	80	○			
	電気電子科	40	○			
	化学技術科	40	○			
	土木情報科	40	○			
	建築科	40	○			
46 鹿島台商	商業科	120	○			
47 涌 谷	普通科	160	○			
48 小牛田農林	農業技術科・農業科学コース	40	○			
	農業技術科・農業土木コース	40	○			
	総合学科	120	○			
49 南 郷	普通科	40	○			
	産業技術科	40	○			
50 佐 沼	普通科	240				○
51 登 米	普通科	120	○			
	商業科	40	○			
52 上 沼	普通科	40	○			
	農業技術科	40	○			
53 米 山	普通科	40	○			
	園芸ビジネス科	40	○			
54 米 谷 工	機械システム科	40	○			
	電気システム科	40	○			
	情報技術科	40	○			
55 築 館	普通科	200				○
56 岩ヶ崎	普通科・文系教養コース	80				○
	普通科・理系教養コース	40				○
	創造工学科 (鶯沢校舎)	40	○			
57 迫 桜	総合学科	200	○			
58 一 迫 商	流通経済科	40	○			
	情報処理科	40	○			

(1) 全日制課程 ※印は市立高校を示す。

学校名	学科・コース	募集 定員	選択類型			
			数英 AA	数英 AB	数英 BA	数英 BB
59 石巻	普通科	240				○
60 石巻好文館	普通科	200				○
61 石巻西	普通科	200	○			
62 石巻北	総合学科	200	○			
63 宮城水産	海洋総合科	120	○			
	情報科学科	40	○			
	機械制御科	80	○			
	電気情報科	40	○			
	化学技術科	40	○			
64 石巻工	土木システム科	40	○			
	建築科	40	○			
	総合ビジネス科	200	○			
	普通科・人文コース	120	○			
66 石巻市立女※	普通科・生活コース	80	○			
	商業科	80	○			
67 石巻市女商※	商業科	80	○			
68 気仙沼	普通科	280				○
69 気仙沼西	普通科	120	○			
70 志津川	普通科	120	○			
	情報ビジネス科	40	○			
71 本吉響	総合学科	120	○			
72 気仙沼向洋	情報海洋科	40	○			
	産業経済科	40	○			
	機械技術科	40	○			
全 日 制 合 計		15,200	103	3	0	32
		学科数計		138		

(2) 定時制課程 ※印は市立高校を示す。

学校名	学科・コース	募集 定員	選択類型			
			数英 AA	数英 AB	数英 BA	数英 BB
1 白石七ヶ宿	普通科 / 昼	40	○			
2 大河原商	普通科 / 夜	80	○			
3 宮城二工	電子機械科 / 夜	40	○			
	電気科 / 夜	40	○			
4 名 取	普通科 / 夜	40	○			
5 貞 山	普通科 / 昼	120	○			
	普通科 / 夜	40	○			
6 古川工	機械科 / 夜	40	○			
	電気科 / 夜	40	○			
7 田尻さくら	普通科 / I部 (午前)	80	○			
	普通科 / II部 (午後夕間)	40	○			
8 佐 沼	普通科 / 夜	40	○			
9 東松島	普通科 / I部 (午前)	40	○			
	普通科 / II部 (午後)	40	○			
	普通科 / III部 (夜間)	40	○			
10 石巻北飯野川	普通科 / 昼	40	○			
11 気仙沼	普通科 / 夜	40	○			
12 仙台大志※	普通科 / I部 (午前午後)	90	○			
	普通科 / II部 (午後夜間)	30	○			
13 仙台工※	建築土木科 / 夜	40	○			
	機械科 / 夜	40	○			
定 時 制 合 計		1,040	21	0	0	0
		学科数計		21		

新入試制度導入までの経過

1 背景 (課題)

推薦入試の課題

- ・中学校長の推薦の有無により受験機会に差が生じる
- ・推薦の基準や各高校が「求める生徒像」が抽象的で、中学校での校内選考が困難
- ・学力検査が不要な早期合格の手段となり、学習意欲の低下などの影響あり
- ・特に普通科では、5段階評定にのみ依存した選抜となっているのではないか

一般入試の課題

- ・学力検査問題の質と量、英語・数学の学校選択問題の継続の可否等を検討すべき
- ・中学生や受験生・保護者に、各高校の選抜方針をどのように具体的に示すか
- ・高校の特色化を図るために、学校裁量幅をどのように拡大するか

2 審議等の経過

諮問

県教育委員会が高等学校入学者選抜審議会に「今後の県立高等学校入学者選抜の在り方について」諮問 (平成20年7月)

意見聴取等

- ① 審議会 (7回) ② 小委員会 (11回) ③ 調査 (H20年10月)
 ④ 意見聴取会 (H21年3~5月, 県内5会場) ⑤ パブリックコメント (H21年9~10月)

- ・現行の推薦入試について「改善すべき」が、中学校・高等学校とも約5割
- ・普通科の推薦入試を「廃止すべき」が、中学校の約7割, 高校の約5割
- ・中学校の進路指導主事の75%が、一般入試と第二次募集の2回制が良いと回答
- ・中学校2年生とその保護者の7割以上が、3回の受験機会が良いと回答
- ・自由記述では、「公平な入試」、「学力向上」、「中高の円滑な接続」の意見が多い

答申

高等学校入学者選抜審議会が、見直し答申 (平成21年12月)

決定・公表

県教育委員会が、見直し方針を決定、公表 (平成22年3月)

3 改善の観点と考え方

改善の主な観点

- ・受験生の多様な能力・適性を多面的に評価
- ・学力の向上; ・特色ある学校づくりの一層の推進

基本的な考え方

- ・生徒にとって公正かつ適正なものである
- ・受験生が自らの将来を展望する契機となる
- ・中学校と高等学校を円滑につなぐものである
- ・学力向上につながるものである

4 これまでの周知経緯

- (1) 県内の全中学生を対象としたリーフレットの作成と配布 (H22年7月, H23年7月)
- (2) 各地区のPTA連合会総会, 市町村が主催する保護者説明会において説明
(H24年度は38回実施し, 約6,000人を対象として実施)
- (3) 地区別公立高校合同説明会において説明
(H24年度は県内5地区で実施し, 約7,000人を対象として実施)

平成25年度公立高等学校入学者選抜について

1 募集定員

		平成25年度	平成24年度	増減
全日制課程	県立	14,120	14,120	0
	市立	1,040	1,040	0
	合計	15,160	15,160	0
定時制課程	県立	840	840	0
	市立	200	200	0
	合計	1,040	1,040	0
合計	県立	14,960	14,960	0
	市立	1,240	1,240	0
	合計	16,200	16,200	0
通信制課程	合計	500	500	0

2 新入試制度の概要及び日程

	前期選抜(連携型入試)	後期選抜	第二次募集
出願資格	志望する高等学校が事前に公表する「出願できる条件」を満たす生徒が出願できる	前期選抜に合格していない生徒が、誰でも志望する高等学校に出願できる	前期選抜、後期選抜のいずれにも合格していない生徒で、高校進学を希望する生徒が出願できる
実施日	平成25年2月1日(金)	平成25年3月7日(木)	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力検査(国語・数学・英語) ○ 学校独自検査(面接・実技・作文等から1つ以上実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力検査(国語・社会・数学・理科・英語) ○ 学校によっては、面接や実技を実施 	面接、実技、作文、学力検査(国語・数学・英語)のいずれか1つ又は複数を実施する場合がある
選抜方法	A 調査書(225点満点) B 学力検査(75~300点) C 学校独自検査(75点~300点) A+B+C の上位の者について調査書の記載事項も含めて選抜	A 調査書(195点満点) B 学力検査(500点満点) を軸とした関連図表及び評定以外の調査書の記載事項を用いて総合的に選抜 調査書と学力検査の比重は、7:3~3:7の範囲で各高校が設定	調査書のみ、または調査書に上記の検査を加えて総合的に選抜
合格発表	平成25年2月12日(火)	平成25年3月13日(水)	

※ 連携型入試 連携型中高一貫教育を行っている、南三陸町内の3中学校(志津川中、戸倉中、歌津中)を対象として、志津川高校において実施

3 HPでの公表

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/>

平成25年度宮城県公立高等学校入学者選抜の詳細について

入学者選抜実施校の数え方

- 全日制課程…73校140学科・コース
分校も1校と数えている。また、複数の学科が一括募集を実施する場合はまとめて1学科として、同一学科でコース別に募集する場合はそれぞれのコースを1学科として数えている。
- 定時制課程…13校21学科
分校も1校と数えている。

1 前期選抜

1 各学校独自検査（作文・面接・実技）を実施する学校・学科の延べ数

学校独自検査	全日制課程						定時制課程			
	普通科		専門・総合学科		体育・美術		普通科		専門学科	
	学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数
作文	26	28	11	16	・	・	6	9	1	2
面接	33	39	34	74	1	1	10	15	3	6
実技					3	3				

2 学校独自検査の実施項目数

実施項目数	全日制課程						定時制課程			
	普通科		専門・総合学科		体育・美術		普通科		専門学科	
	学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数
一つ	41	45	37	72	2	2	4	6	2	4
二つ	9	11	4	9	1	1	6	9	1	2
三つ					・	・				
合計	50	56	41	81	3	3	10	15	3	6

3 学力検査で傾斜配点を実施する学校数 1校 1学科

学校	学科	学校名	学科・コース	傾斜配点教科	傾斜倍率
1	1	古川高校	普通科	数学・英語	1.5倍

4 配点

(1) 学力検査

		全日制課程						定時制課程					
		普通科		専門・総合学科		体育・美術		普通科		専門学科			
		学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数		
300	各100	4	2	4	8	2	9	5	4	7	1	2	
	傾斜配点	1	1	
225	各75	2	2	5	8	.	.	1	1	.	.		
150	各50	5	5	7	19	1	1	5	7	2	4		
75	各25	1	1		
合計		5	0	5	6	4	1	8	1	3	15	3	6

(2) 学校独自検査

検査		全日制課程						定時制課程				
		普通科		専門・総合学科		体育・美術		普通科		専門学科		
		学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数	
作文	100	2	2	1	1	.	.	1	1	.	.	
	75	1	6	1	6	.	.	1	2	.	.	
	50	7	9	3	5	.	.	3	5	1	2	
	25	1	1	1	4	
	20	1	1	.	.	
	計	2	6	2	8	1	1	1	6	9	1	2
面接	225	.	.	2	3	
	150	.	.	1	1	.	.	4	6	2	4	
	100	2	2	3	5	1	2	
	80	1	2	1	1	
	75	2	1	2	4	2	4	5	6	.	.	
	60	1	1	.	.	
	50	5	7	3	8	.	.	3	5	.	.	
	25	4	4	.	.	1	1	
計	3	3	3	9	3	4	1	1	10	15	3	6
実技	275					1	1					
	225					1	1					
	75					1	1					
	計					3	3					

(3) 第一段階で選抜する割合

(2段階で選抜する前期選抜募集人数のうち、第1段階で選抜する人数の割合)

	全日制課程						定時制課程			
	普通科		専門・総合学科		体育・美術		普通科		専門学科	
	学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数
90%	9	10	7	10	1	1	3	4	1	2
85%	1	1
80%	24	26	13	22	2	2	1	1	1	2
75%	2	4	2	4	.	.
70%	14	15	21	49	.	.	4	6	1	2
合計	50	56	41	81	3	3	10	15	3	6

II 後期選抜

1 調査書点と学力検査点との比重

調査書：学力検査点	全日制課程						定時制課程			
	普通科		専門・総合学科		体育・美術		普通科		専門学科	
	学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数
3 : 7	12	12	6	6	1	1	3	7	.	.
4 : 6	15	16	7	16	.	.	1	2	.	.
5 : 5	20	24	26	55	2	2	4	4	3	6
6 : 4	3	4	2	4	.	.	2	2	.	.
7 : 3
合計	50	56	41	81	3	3	10	15	3	6

2 選抜方法

(1) 学力検査で傾斜配点を実施する学校数 3校 5学科・コース

学校	学科	学校名	学科・コース	傾斜配点教科	傾斜倍率
1	1	富谷	普通科・人文コース	国語	1.5倍
	2	富谷	普通科・国際コース	英語	1.5倍
	3	富谷	普通科・理数コース	数学	1.5倍
2	4	古川	普通科	数学, 英語	各1.5倍
3	5	古川黎明	普通科	数学, 英語	各1.5倍

(2) 必要に応じて面接・実技を実施する学校数

面接・実技実施 (後期選抜)	全日制課程						定時制課程					
	普通科		専門・総合学科		体育・美術		普通科		専門学科			
	学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数	学校数	学科数		
面接	5	6	1	2	2	3	0	1	5	3	6	
実技検査							3	3				
合計	5	6	1	2	2	3	3	3	1	5	3	6

全日制課程

面接実施校

15校 29学科・コース (うち普通科5校)

実技実施校

3校 3学科

学校	学科	学校名	学科・コース	実施内容		
				個人面接	集団面接	実技
1	1	蔵王	普通科		○	
2	2	村田	総合学科		○	
3	3	柴田農林川崎	普通科	○		
4	4	柴田	体育科			○
5	5	亘理	普通科・普通コース		○	
	6	亘理	普通科・園芸コース		○	
	7	亘理	食品化学科		○	
	8	亘理	商業科		○	
	9	亘理	家政科		○	
6	10	農業	農業科・園芸科		○	
	11	農業	農業機械科		○	
	12	農業	食品化学科		○	
	13	農業	生活科		○	
7	14	宮城野	美術科			○
8	15	利府	スポーツ科学科			○
9	16	黒川	機械科		○	
	17	黒川	電子工学科		○	
	18	黒川	環境技術科		○	
10	19	岩出山	普通科	○		
11	20	松山	普通科	○		
	21	松山	家政科	○		
12	22	加美農業	農業科		○	
	23	加美農業	農業機械科		○	
	24	加美農業	生活技術科		○	
13	25	鹿島台商業	商業科		○	
14	26	岩ヶ崎	創造工学科(鶯沢校舎)	○		
15	27	一迫商業	流通経済科	○		
	28	一迫商業	情報処理科	○		
16	29	水産	海洋総合科	○		
	30	水産	情報科学科	○		
17	31	石巻市女商	商業科	○		
18	32	本吉響	総合学科	○		

定時制課程

面接実施校 12校19学科

学校	学科	学校名	学科	実施内容		
				個人面接	集団面接	実技
1	1	白石七ヶ宿	普通科 / 昼	○		
2	2	大河原商業	普通科 / 夜	○		
3	3	宮城二工	電子機械科 / 夜	○		
	4	宮城二工	電気科 / 夜	○		
4	5	名取	普通科 / 夜	○		
5	6	貞山	普通科 / 昼	○		
	7	貞山	普通科 / 夜	○		
6	8	古川工業	機械科 / 夜	○		
	9	古川工業	電気科 / 夜	○		
7	10	佐沼	普通科 / 夜	○		
8	11	東松島	普通科 / I部(午前)	○		
	12	東松島	普通科 / II部(午後)	○		
	13	東松島	普通科 / III部(夜間)	○		
9	14	石巻北飯野川	普通科 / 昼	○		
10	15	気仙沼	普通科 / 夜	○		
11	16	仙台大志※	普通科/I部(午前午後)		○	
	17	仙台大志※	普通科/II部(午後夜間)		○	
12	18	仙台工※	建築土木科 / 夜	○		
	19	仙台工※	機械科 / 夜	○		

※は仙台市立高校を示す。

Ⅲ 連携型中高一貫教育に関する入試

連携型中高一貫教育を実施する志津川高等学校において、連携型中高一貫教育を実施する中学校からの志願者を対象とした入学者選抜を実施する。

なお、当該高等学校の前期選抜は連携型中学校を除く中学校からの志願者を対象として実施し、同じく後期選抜は県内すべての中学校からの志願者を対象として実施する。

(1) 連携型中学校

南三陸町立志津川中学校、南三陸町立戸倉中学校、南三陸町立歌津中学校

(2) 検査等の実施時期

前期選抜と同日に実施

(3) 検査等の実施内容

面接（集団面接）及び学力検査（国語、数学、英語）。

なお、学力検査は前期選抜の学力検査問題を用いる。

Ⅳ 併設型中高一貫教育に関する入試

併設型中高一貫教育を実施する宮城県古川黎明高等学校及び仙台二華高等学校において、併設型中高一貫教育を実施する中学校の生徒については、学校教育法施行規則第116条により入学者の選抜を行わないものとする。

それにより、当該高等学校の前期選抜及び後期選抜は、併設型中学校以外の中学校からの志願者を対象として実施する。

Ⅴ 社会人特別選抜（定時制課程）

定時制課程の高等学校において、雇用主等の推薦により社会人を前期選抜と同時期に選抜を行うことができる。

	定時制課程			
	普通科		専門学科	
	学校数	学科数	学校数	学科数
実施する	7	12	3	6
実施しない	3	3	・	・
合計	10	15	3	6

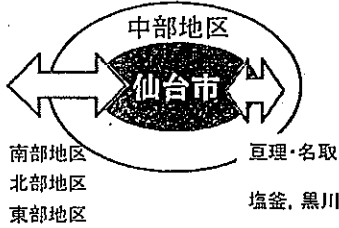
実施しない学校（学科・コース等）

白石七ヶ宿校(普通科)、石巻北飯野川校（普通科）、貞山（昼間部）

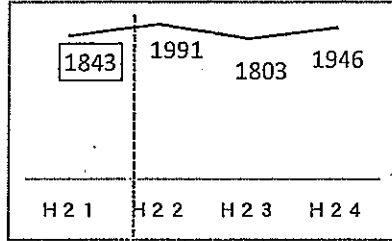
報告(3)

出願状況からみた全県一学区化に伴う地区外出願希望状況について
(H20~H24の推薦入試, 一般入試)

1 仙台市内外

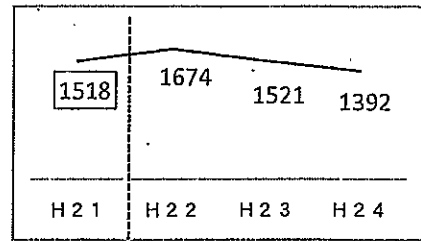


仙台市外 → 仙台市内



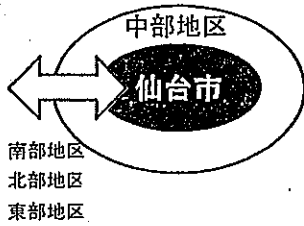
学区制 → 全県一学区化

仙台市内 → 仙台市外

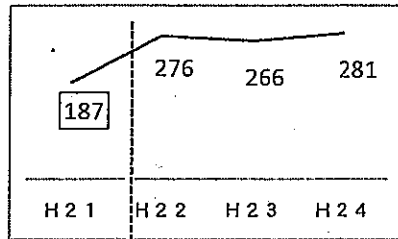


学区制 → 全県一学区化

2 仙台市内と各地区

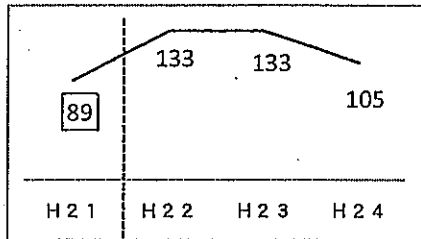


(南部・北部・東部)地区 → 仙台市内



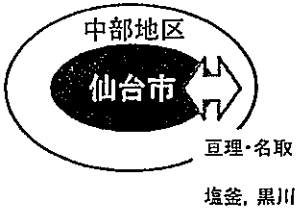
学区制 → 全県一学区化

仙台市内 → (南部・北部・東部)地区

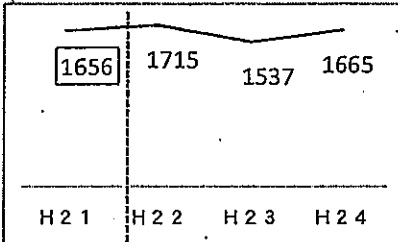


学区制 → 全県一学区化

3 仙台市内と周辺地区

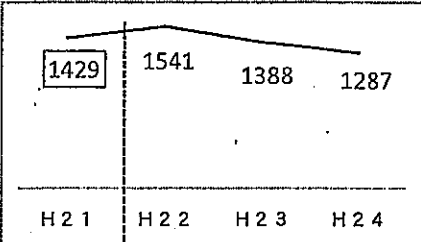


仙台市外の中部地区 → 仙台市内
(亶理名取・塩釜・黒川)



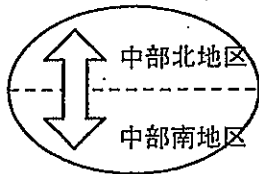
学区制 → 全県一学区化

仙台市内 → 仙台市外の中部地区
(亶理名取・塩釜・黒川)

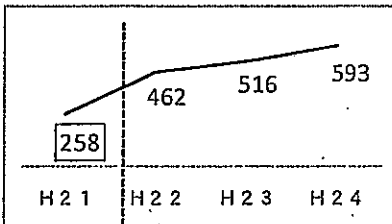


学区制 → 全県一学区化

4 中部南北間

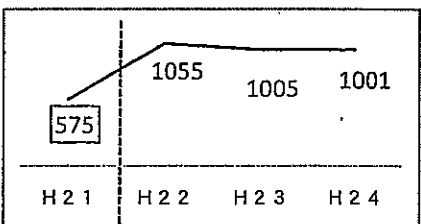


中部南 → 中部北



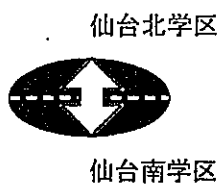
学区制 → 全県一学区化

中部北 → 中部南

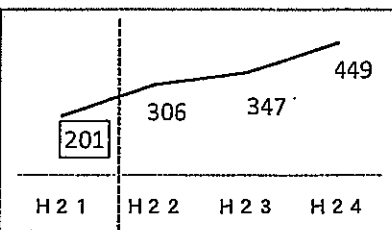


学区制 → 全県一学区化

5 仙台北南間

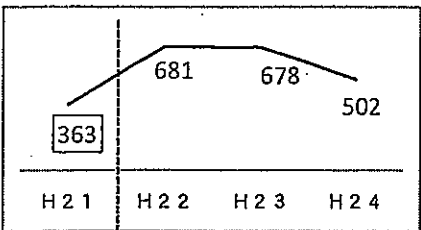


仙台南 → 仙台北



学区制 → 全県一学区化

仙台北 → 仙台南



学区制 → 全県一学区化

諮 問 関 係 資 料

諮 問

諮問文	(1)
(別紙1) 選抜方針について	(2)
(別紙2) 選抜日程について	(4)

説 明 資 料

- 1 選抜方針について
平成26年度宮城県公立高等学校入学者選抜方針について (5)
- 2 選抜日程について
(1) 平成16年度～平成25年度高等学校入学者選抜の推移
及び平成26年度日程案 (6)
(2) 前期選抜の実施日、合格発表日についてのシミュレーション (7)



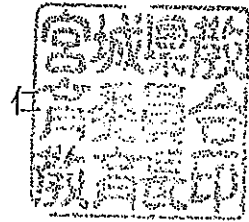
高 第 2 6 6 号

平成24年7月19日

高等学校入学者選抜審議会委員長 殿

宮城県教育委員会

教育長 高 橋



平成26年度宮城県立高等学校入学者選抜について（諮問）

このことについて、高等学校入学者選抜審議会条例第1条の規定により、下記事項について諮問します。

記

1 選抜方針について（別紙1）

2 選抜日程について（別紙2）

平成26年度宮城県立高等学校入学者選抜方針

宮城県立高等学校における入学者選抜は、高等学校及び中学校における教育の目的の実現及び健全な教育の推進を期し、公正かつ適正な選抜方法と選抜尺度により厳正に行うものとする。

1 基本原則

- (1) 各高等学校長は、その教育を受けるに足る多様な能力と適性等を積極的に評価し、選抜するものとする。
- (2) 出願事務及び選抜事務の厳正を期するため、中学校にあっては調査書等作成のための委員会を、高等学校にあっては選抜のための委員会を設置するものとする。
- (3) 県外及び海外からの出願承認に当たっては、高等学校長は、公正、適正な審査を行うものとする。また、海外帰国者等の選抜については、弾力的に対応するものとする。

2 前期選抜

- (1) すべての高等学校は、学校・学科の特色に応じて、前期選抜を実施する。選抜に当たって、高等学校長は、原則として、調査書、その他必要な書類、学校独自検査の結果及び学力検査の結果に基づいて総合的に審査するものとする。

(2) 学校独自検査

ア すべての高等学校は一つ以上の学校独自検査を実施する。

イ 学校独自検査は、面接、実技（体育及び美術に関する学科の場合）、作文等とする。

(3) 学力検査

ア すべての高等学校は学力検査を実施する。

イ 実施教科は、国語、数学及び英語とする。

ウ 実施時間は、各教科それぞれ50分とする。

エ 学力検査の内容は、中学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的なものを重視するとともに、生徒の多様な能力・適性等が評価できる適切な質と分量の問題になるよう配慮するものとする。

オ 高等学校は各教科の配点を変更できる。

3 後期選抜

- (1) すべての高等学校は、学校・学科の特色に応じて、後期選抜を実施する。選抜に当たって、高等学校長は、原則として、調査書、その他必要な書類及び学力検査の結果に基づいて総合的に審査するものとする。

この場合、次のア～ウを実施して、その結果を選抜の資料に加えることができる。

ア 面接

イ 実技（体育及び美術に関する学科の場合）

ウ 各教科の配点の比重を変える傾斜配点

また、必要に応じその他の資料を加えることができる。

(2) 学力検査

ア すべての高等学校は学力検査を実施する。

イ 実施教科は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。

ウ 実施時間は、各教科それぞれ5.0分とする。

エ 学力検査の内容は、中学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的なものを重視するとともに、生徒の多様な能力・適性等が評価できる適切な質と分量の問題になるよう配慮するものとする。

4. 第二次募集

合格者数が、募集定員に満たない場合においては、第二次募集を行うものとする。選抜に当たって、高等学校長は、調査書のみを審査、あるいは調査書に、第二次募集の学力検査、面接、実技（体育及び美術に関する学科の場合）、作文のいずれか一つ又は複数の結果を合わせた審査を行うことができる。

5. 連携型中高一貫教育に関する入試

連携型中高一貫教育を実施する高等学校は、連携型中高一貫教育を実施する中学校の卒業生を対象として連携型入試を実施する。選抜に当たって、当該高等学校長は、原則として、調査書、その他必要な書類及び学力検査（前期選抜に準じる。）、面接等の結果に基づいて総合的に審査するものとする。

6. 社会人特別選抜

定時制課程の学科においては、社会人を対象とした選抜を行うことができる。

7. 通信制課程に関する入試

当該高等学校長は上記によらず、選抜できるものとする。

平成26年度宮城県立高等学校入学者選抜日程

前期選抜・連携型入試 実施日 平成26年 2月 3日(月)

合格発表日 平成26年 2月10日(月)

後期選抜 実施日 平成26年 3月 6日(木)

合格発表日 平成26年 3月12日(水)

(説明資料 1)

平成26年度宮城県立高等学校入学者選抜方針について

1 基本原則・・・・・・・・(平成25年度に同じ)

2 前期選抜

- 高等学校ごとに、学力検査の配点の変更可能であることを明確にした

(新旧対照表)

平成25年度	平成26年度
	(3) 才 高等学校は各教科の配点を変更できる。

3 後期選抜・・・・・・・・(平成25年度に同じ)

4 第二次募集・・・・・・・・(平成25年度に同じ)

5 連携型中高一貫教育に関する入試

- 連携型入試を実施する高等学校を明確にした
- 選抜についての記述であることを明確にした
- 検査の実施項目の範囲を限定した

(新旧対照表)

平成25年度	平成26年度
当該高等学校長は、原則として、調査書、面接・作文等の結果及び学力検査(前期選抜に準じる。)の結果に基づいて総合的に審査するものとする。	連携型中高一貫教育を実施する高等学校は、 <u>連携型中高一貫教育を実施する中学校の卒業生を対象として連携型入試を実施する。</u> 選抜に当たって、当該高等学校長は、原則として、調査書、 <u>その他必要な書類及び学力検査(前期選抜に準じる。)</u> 、 <u>面接等の結果に基づいて総合的に審査するものとする。</u>

6 社会人特別選抜

- 選抜方針に記載することとした

(実施の概要)

○ 出願資格者

- ・ 人物が優れ、志望動機が明確で、学科等に関する適性及び興味・関心を有する者
- ・ 3年以上の事業所勤務者、自営業者、主婦等
- ・ 勤務先の所属長などの推薦を得た者

○ 実施校

- ・ 定時制課程の高等学校において実施(入学者選抜一覧に表記)

7 通信制課程に関する入試

- 選抜方針に記載することとした

(実施の概要)

○ 面接のみ実施、書類審査に面接の結果を合わせた審査により選抜

○ 秋に、二期入学者選抜を実施(募集定員の10%+空き定員)。実施内容、選抜は春入試(一期入学者選抜)と同様

平成16年度～平成25年度高等学校入学者選抜日程の推移及び平成26年度日程案

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
推薦入学出願者受付	1.14～22	1.13～21	1.13～23	1.15～23	1.15～23	1.14～22	1.13～22	1.13～21	1.16～23
推薦入学出願者の面接等 (私立高等学校入試・他地区)	1.30(金)	1.31(月)	1.31(火)	1.31(水)	1.31(木)	1.30(金)	1.29(金)	1.31(月)	1.31(火)
(私立高等学校入試・A日程)	1.25～29	1.26～27	1.26～27	1.29～30	1.29～30	1.28～29	1.27～28	1.26～27	1.26～27
(私立高等学校入試・B日程)	2.2(月)	2.1(火)	2.1(水)	2.1(木)	2.1(金)	2.2(月)	2.1(月)	2.1(火)	2.1(水)
推薦入学結果通知	2.4(水)	2.3(木)	2.3(金)	2.5(月)	2.4(月)	2.4(水)	2.3(水)	2.3(木)	2.3(金)
出願受付	2.6(金)	2.7(月)	2.7(火)	2.7(水)	2.7(木)	2.6(金)	2.5(金)	2.7(月)	2.7(火)
学力検査	2.16～24	2.15～24	2.14～23	2.15～23	2.15～25	2.16～23	2.15～23	2.16～24	2.16～23
合格者の発表	3.5(金)	3.9(水)	3.8(水)	3.7(水)	3.6(木)	3.5(木)	3.4(木)	3.9(水)	3.8(水)
第二次募集出願受付	3.11(木)	3.15(火)	3.14(火)	3.13(火)	3.12(水)	3.11(水)	3.10(水)	3.15(火)	3.14(水)
第二次試験	3.12～18	3.16～18	3.15～20	3.14～19	3.13～18	3.12～17	3.11～16	3.16～18	3.15～19
第二次募集合格発表	3.19～22	3.22～23	3.22～23	3.20～22	3.19～21	3.18～19	3.17～18	3.22～23	3.21～22
	3.19～22	3.22～23	3.22～23	3.20～22	3.19～21	3.18～19	3.17～18	3.22～23	3.21～22

	25年度	26年度(案)
前期選抜出願者受付	1.11～16	
前期選抜実施日 (私立高等学校入試・他地区)	2.1(金)	2.3(月)
(私立高等学校入試・A日程)	—	
(私立高等学校入試・B日程)	1.28(月)	
前期選抜合格発表	1.30(水)	
後期選抜出願受付	2.12(火)	2.10(月)
後期選抜実施日	2.20～25	
後期選抜合格発表	3.7(木)	3.6(木)
第二次募集出願受付	3.13(水)	3.12(水)
第二次募集実施日	3.14～18	
第二次募集合格発表	3.21～22	
	3.21～22	

(説明資料2(2))

前期選抜の実施日、合格発表日についてのシミュレーション

●:実施日

前:前期

A:私学A日程

△:合格発表日

後:後期

B:私学B日程

出:出願期間

卒:卒業式

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
金	1月 25	1月 24	1月 23	1月 22	1月 27	1月 26
土	26	25	24	23	28	27
日	27	26	25	24	29	28
月	28 A	27	26	25	30	29
火	29	28	27	26	31	30
水	30 B	29	28	27	2月 1	31
木	31	30	29	28	2	2月 1
金	2月 1 前●	31	30	29	3	2
土	2	2月 1	31	30	4	3
日	3	2	2月 1	31	5	4
月	4	3 前●	2	2月 1	6	5
火	5	4	3	2	7	6
水	6	5	4	3	8	7
木	7	6	5	4	9	8
金	8	7	6	5	10	9
土	9	8	7	6	11	10
日	10	9	8	7	12	11
月	11	10 前△	9	8	13	12
火	12 前△	11	10	9	14	13
水	13	12	11	10	15	14
木	14	13	12	11	16	15
金	15	14	13	12	17	16
土	16	15	14	13	18	17
日	17	16	15	14	19	18
月	18	17	16	15	20	19
火	19	18	17	16	21	20
水	20 後出	19 後出	18	17	22	21
木	21 後出	20 後出	19	18	23	22
金	22 後出	21 後出	20	19	24	23
土	23	22	21	20	25	24
日	24	23	22	21	26	25
月	25 後出	24 後出	23	22	27	26
火	26	25	24	23	28	27
水	27	26	25	24	3月 1 卒	28
木	28	27	26	25	2	3月 1 卒
金	3月 1 卒	28	27	26	3	2
土	2	3月 1	28	27	4	3
日	3	2	3月 1	28	5	4
月	4	3 卒	2 卒	29	6	5
火	5	4	3	3月 1 卒	7	6
水	6	5	4	2	8	7
木	7 後●	6 後●	5	3	9	8
金	8	7	6	4	10	9
土	9	8	7	5	11	10
日	10	9	8	6	12	11
月	11	10	9	7	13	12
火	12	11	10	8	14	13
水	13 後△	12 後△	11	9	15	14
木	14	13	12	10	16	15
金	15	14	13	11	17	16

平成25年春の入試から 新入試制度がスタート!

各高校の入学者選抜一覧表が公表されます

前期 選抜

2月上旬

志望する高等学校が事前に公表する「出願できる条件」を満たす生徒が出願できます。

検査項目

- 学力検査
(国, 数, 英の3教科)
- 学校独自検査
面接・実技・作文から1つ以上実施します

- A** 調査書
(225点 満点)
- B** 学力検査
(75~300点)
- C** 学校独自検査
(75~300点)

※学校によって、**A**の検査内容や**B**や**C**の配点が異なります。

- 第1段階
A+**B**+**C**の合計点上位の者について、調査書の記載事項も用いて総合的に選抜します。
- 第2段階
調査書の記載事項も用いて総合的に選抜します。

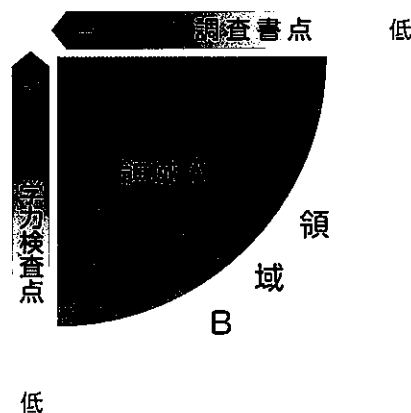
後期 選抜

3月上旬

志望する高等学校に誰でも出願できます。

検査項目

- 学力検査
(国, 社, 数, 理, 英の5教科)
- 学校独自検査
学校によっては面接や実技を実施します。



※調査書点と学力検査点の比重が学校ごとに異なります。

- 第1段階
調査書点と学力検査点の相関図を用いて領域Aから総合的に選抜します。
- 第2段階
領域Bから調査書の記載事項を用いて総合的に選抜します。

第二次 募集

3月下旬

前期選抜・後期選抜、いずれにも合格していない生徒で高校進学を希望する生徒が出願できます。

検査項目

面接, 実技, 作文, 学力検査から1つ以上実施する場合があります。

調査書のみ、または調査書に上記の検査を加えて総合的に選抜します。

※募集定員を前期選抜と後期選抜に分けて選抜を行います。

※募集定員に満たない場合に実施します。

平成25年度宮城県公立高等学校

入学者選抜一覽

新入試制度の仕組み (i)

留意事項 (ii)

選抜一覽表の見方 (iii)

全日制課程 1 ページ

定時制課程 44 ページ

平成24年7月4日発表

宮城県教育委員会

全県一学区化に伴う状況について

(県立高等学校将来構想審議会における検証報告から)

第2期県立高等学校将来構想審議会 高校教育改革の成果等に関する検証

「全県一学区化」に関する検証の概要

将来構想審議会事務局

第2期県立高等学校将来構想審議会 高校教育改革の成果等に関する検証
「全県一学区化」に関する検証の概要

平成24年7月

1 高校教育改革の成果等に関する検証の目的

高校教育改革を着実に推進し、その実効性を確保していくため、高校教育改革の各種施策・取組の進捗状況や成果・課題について、客観的かつ専門的な見地から検証し、その結果を中長期的な計画の立案に反映させることを目的として実施する。

併せて、検証のプロセスと結果を適時・的確に県民に情報提供し、高校教育改革に係る県民への説明責任を向上させていくことを目指す。

2 第2期県立高等学校将来構想審議会（平成22年8月～平成24年7月）における審議状況

(1) 検証テーマ

「普通教育と専門教育の体制整備」「男女共学化」「全県一学区化」

(2) 審議の経過

H22.8～9 高校教育改革の成果等に関する検証について諮問、検証テーマの選定

H22.11～H23.9 「普通教育と専門教育の体制整備」に関する検証（審議会1回、部会5回）

H23.9 「普通教育と専門教育の体制整備」に関する答申

H23.12～H24.7 「男女共学化」「全県一学区化」に関する検証（審議会2回、部会4回）

3 「全県一学区化」に関する検証

これまで、「全県一学区化」の目的や実施により期待された成果を整理するとともに、その達成状況を把握するための評価指標の検討や定量データの分析による現状把握を進めてきたところであり、現時点では課題の抽出には至っていないが、次のような議論がなされている。

(1) 生徒の地区間流入入による影響

（関連するデータの状況：表1参照）

- 同一地区の公立高校（全日制）に進学した生徒の割合は、平成21年度69.3%、平成22年度66.7%、平成23年度67.0%となっている。
- 地区別にみると、「南部」「北部（大崎）」「北部（登米）」「東部（石巻）」の4地区では、同一地区からの入学者が全県一学区化後2年連続して減少しているが、その減少幅は年度あたり最大約5%となっている。
- 私立学校への進学割合の大幅な増加も見られないことから、地区間の比較で見ると限りにおいては、現段階では、特定の地区への志願の集中は見られない。

（審議委員からの主な意見）

- 生徒の地区間移動が更に進むか否かは、現段階では読み取れないことから、今後の推移を継続して見ていくことが必要となる。
- また、全県一学区化によって、教育機会の不均等や学力の地域間・学校間格差の問題が生じていないかについても、継続して点検していく必要がある。

【表1】地区別の入試倍率・同一地区からの入学者割合・みやぎ学力状況調査の状況

項目 地区	中学校・中等教育学校(前期課程)の卒業生数							一般入試出願倍率							同一地区の公立高校(全日制課程)への進学割合							県内の私立(全日制課程)への進学割合							みやぎ学力 状況調査 (国数英) 偏差値
	21年3月 (人)	22年3月 (人)	23年3月 (人)	前年同期比(%)				21年度 (倍)	22年度 (倍)	23年度 (倍)	前年度差(ポイント)				21年度 (%)	22年度 (%)	23年度 (%)	前年度差(ポイント)				21年度 (%)	22年度 (%)	23年度 (%)	前年度差(ポイント)				前年差 (ポイント)
				21年 3月	22年 3月	23年 3月	一学区化 後変化量				21年度	22年度	23年度	一学区化 後変化量				21年度	22年度	23年度	一学区化 後変化量				21年度	22年度	23年度	一学区化 後変化量	
南部(刈田柴田・伊具)	1,699	1,762	1,649	▲ 8.4	▲ 3.7	▲ 6.4	▲ 2.7	0.92	1.07	1.00	▲ 0.09	0.15	▲ 0.07	0.08	87.4	83.3	83.0	3.6	▲ 4.1	▲ 0.3	▲ 4.4	4.9	6.2	5.8	▲ 2.4	1.3	▲ 0.4	0.8	0.7
中部	13,907	14,349	13,889	▲ 2.4	▲ 3.2	▲ 3.2	▲ 0.0	1.45	1.50	1.45	▲ 0.04	0.05	▲ 0.05	0.00	61.2	58.5	59.5	0.4	▲ 2.7	1.1	▲ 1.6	35.2	36.9	35.6	0.4	1.7	▲ 1.3	0.4	▲ 0.0
亘理名取	1,634	1,780	1,719	▲ 8.2	▲ 8.9	▲ 3.4	5.5	1.48	1.44	1.31	0.09	▲ 0.04	▲ 0.13	▲ 0.17	33.5	31.3	31.3	2.1	▲ 2.2	0.0	▲ 2.2	20.0	25.4	24.2	▲ 0.4	5.4	▲ 1.2	4.2	0.5
仙台南・仙台北	9,351	9,549	9,351	▲ 0.7	▲ 2.1	▲ 2.1	0.0	1.46	1.52	1.52	▲ 0.08	0.07	▲ 0.00	0.06	46.6	45.4	46.5	0.8	▲ 1.2	1.1	▲ 0.1	40.4	41.9	40.2	▲ 0.3	1.5	▲ 1.7	▲ 0.2	0.0
塩釜・黒川	2,922	3,020	2,819	▲ 4.6	▲ 3.4	▲ 6.7	▲ 3.3	1.39	1.44	1.30	0.01	0.05	▲ 0.14	▲ 0.09	43.1	41.4	42.8	0.8	▲ 1.7	1.4	▲ 0.3	26.8	27.7	27.2	1.6	0.9	▲ 0.6	0.4	▲ 0.5
北部(大崎・透田)	1,968	2,058	2,019	▲ 8.4	▲ 4.6	▲ 1.9	2.7	1.06	1.07	0.99	▲ 0.04	0.01	▲ 0.08	▲ 0.07	79.8	74.7	72.3	4.6	▲ 5.1	▲ 2.4	▲ 7.6	13.4	14.7	19.0	▲ 4.0	1.4	4.2	5.6	▲ 0.8
北部(栗原)	640	647	615	▲ 11.5	▲ 1.1	▲ 4.9	▲ 3.9	0.77	0.84	0.88	▲ 0.04	0.06	0.04	0.10	72.8	74.5	74.1	▲ 4.6	▲ 1.7	▲ 0.4	1.3	5.5	5.9	4.1	0.9	0.4	▲ 1.7	▲ 1.3	0.7
北部(登米)	794	817	783	▲ 14.4	▲ 2.9	▲ 4.2	▲ 1.3	0.87	0.87	0.84	▲ 0.07	0.00	▲ 0.03	▲ 0.03	73.0	72.0	70.9	0.3	▲ 1.0	▲ 1.1	▲ 2.1	5.1	6.5	4.9	0.2	1.4	▲ 1.6	▲ 0.2	▲ 0.6
東部(石巻)	2,130	2,190	2,090	▲ 0.2	▲ 2.8	▲ 4.6	▲ 1.7	0.94	1.01	0.99	▲ 0.01	0.07	▲ 0.02	0.05	88.6	87.0	86.3	0.7	▲ 1.6	▲ 0.7	▲ 2.3	5.7	7.2	6.3	▲ 0.3	1.5	▲ 0.9	0.6	0.2
東部(本吉)	954	974	958	▲ 3.9	▲ 2.1	▲ 1.6	0.5	1.06	1.08	1.07	0.06	0.02	▲ 0.02	0.00	83.8	82.5	84.7	0.3	▲ 1.3	2.2	0.9	12.0	13.8	9.5	▲ 1.2	1.7	▲ 4.3	▲ 2.5	0.2
合計	22,092	22,797	22,003	▲ 4.1	▲ 3.2	▲ 3.5	▲ 0.3	1.20	1.26	1.22	▲ 0.03	0.05	▲ 0.04	0.01	69.3	66.7	67.0	0.8	▲ 2.6	0.3	▲ 2.3	25.1	26.6	25.9	▲ 0.1	1.5	▲ 0.7	0.8	-

(備考)「一般入試出願倍率」は各校の倍率の単純平均により、「みやぎ学力状況調査(国数英)偏差値」は各校の偏差値の単純平均により算出。

「みやぎ学力調査」は、H21年度以前は1年生を対象に、H22年度以降は2年生を対象に実施されていることから、H21年度以前のデータとの比較はしていない。

(資料)中学校等の卒業生数は、学校基本調査(文部科学省、宮城県)、それ以外は宮城県教育庁調べ

【表2】高校のタイプ別の入試倍率・同一地区からの入学者割合・みやぎ学力状況調査の状況

区分 学校のタイプ	一般入試出願倍率(倍)							同一地区の公立高校(全日制課程)への進学割合(%)							みやぎ学力 状況調査 (国数英) 偏差値
					前年度差(ポイント)							前年度差(ポイント)			前年度差 (ポイント)
	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H21年度	H22年度	H23年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H21年度	H22年度	H23年度	H23年度
普通科 (理数科・英語科が設置されている学校を含む。)	1.27	1.27	1.31	1.27	0.00	0.04	▲ 0.04	83.5	84.2	83.2	84.3	0.7	▲ 1.0	1.1	0.1
進路指導拠点校(仙台市)	1.29	1.36	1.44	1.41	0.07	0.08	▲ 0.03	75.5	76.0	75.0	77.9	0.5	▲ 1.0	2.9	0.3
進路指導拠点校(仙台市以外)	1.02	1.07	1.06	1.06	0.05	▲ 0.01	▲ 0.00	94.8	93.5	92.4	93.5	▲ 1.3	▲ 1.1	1.1	0.1
普通科+理数科・英語科	1.53	1.53	1.38	1.57	0.01	▲ 0.15	0.19	72.2	75.0	74.3	77.3	2.8	▲ 0.7	3.0	▲ 1.0

(備考)「一般入試出願倍率」及び「同一地区の公立高校(全日制課程)への進学割合」は各校の倍率又は割合の単純平均により、「みやぎ学力状況調査(国数英)偏差値」は各校の偏差値の単純平均により算出。

「みやぎ学力調査」は、H21年度以前は1年生を対象に、H22年度以降は2年生を対象に実施されていることから、H21年度以前のデータとの比較はしていない。

(資料)宮城県教育庁調べ

平成24年度

公立高等学校入学者選抜
学力検査の分析結果

宮城県教育委員会